



いすねー一緒に頑張りました。正直に話したのが良かったのか、社員みんなが親身になって話をきいてくれました。その時は、心からありがたかったと同時に、こんな社員達のためにも、会社を良くしたいと強く思いました。それにはまず、自分が変わらなといけないと、様々な勉強をはじめました。

すべての原因は私にあった。

それからすぐに、経営者としての勉強会にもたくさん参加したのですが、そこでも思い知らされたのは、全ての原因は私にあったということです。それまでの私は、自分

らされたのです。

そこから、本気のスイッチが入りました。会社を変えたいための学びを習得しようと必死になりました。どうやったら、チームとして力を上げていけるのか。個々の能力を引き出し開花させて、社長の指示ではなく、自発的に動いてくれる社員を育て、権限移譲を進めていけるのか。それまでに本なんて読んでここのない私が、経営の本を読みふけりました。ただ読んでいただけでなく、すぐに会社の業務にも落としこんでいきました。しかし、勉強すればするほど、社員との間に溝が出来ていったのです。どんな学び知識を付けていくかは、社員との知識の格差を感じ、そしてさらに悪い所しか目につかなくなっていきました。これは「マズイ」と感じ、研修には1人で行くのではなく、社員も一緒に連れていき、学ぶようにしました。ちょうどその頃、日本はめる達人協会理事長の西村貴好さんと出会い、人の長所や価値を見つけ、ほめて組織を活性化するノウハウを知り、会社に導入しました。すると社員が自立しはじめ、少しずつですが会社の状況が良くなり始めました。

関わりかたが変われば、人生が変わる。

あれだけ毎日怒っていた私が、いまは全く怒らなくなりました。「どうしたら喜んでもらえるのか」ばかりを今は考えています。自身の変化に一番びっくりしている私ですが、過去の私のように他人のせいにして生きるのにはある意味楽ですが、成長はありません。誰かのせいにするのを止めて、自分がどうしたら良かったのかを考える様になると、人との関わり方が変わります。関わり方が変われば、人生が変わる。それを教えてくれたのは社員であり、家族であり、周りの人たち。どんな人でも変わることが出来るし、どんな人にも能力や価値がある。それを認めてあげること、組織は活性化し、自立型組織に変わっていきます。

てはくれたのですが、忙しいだけの毎日、やってきたことは全て無駄だったのか、と思うと何もかもが嫌になり、仕事を終えたあと夜中0時頃、海に飛び込み自殺をはかりました。

飛びこんだのは、忘れもしない12月の海。水温がとても冷たく、肌を刺す感覚に一気に恐怖感が押しよせてきました。それと同時に必死に泳いでいたのです。というのも、私は運動神経が抜群、水泳は得意中の得意。自殺しようとして飛びこんだものの、スイスイ泳いで岸に戻れてしまったのです。そのときに死ぬ勇気も無い自分に物凄く情けない気持ちになり、本当は心のどこかで死ぬことはないだろうと飛びこんだことにも、自分が情けないやらアホらしいやら……。ひとしきり悔し涙を流した後、前に進むしかない、翌朝、社員みんなの前で土下座をしました。状況を正直に話し「もう1人ではどうにも出来ない。何とか力を貸してほしい」とお願いしました。社員には怒ってばかりだったので「いさら何言っているんだ」と罵倒されると思っていたのですが「社長、水くさ

を全て外においていました。自己中心的な考えだったのです。ある研修に参加した時の事です。2000名程が参加している研修の中で、仮想会社を作るプログラムがあり、社長になりたい人が立候補するのですが、5名程立候補したうちの1人が私でした。しゃべりには自信があったので、なぜ社長になりたいのかを全力でプレゼンし、自己採点は100点。これで私に決まりだなと思っていました。すると講師の先生が「西村さん、5月の蠅って何と読むか知っていますか?」と言ったのです。私は「わかりません」と答えると「うるさいと読むんだよ」と冷静な声でいられました。これはショックで、こたえました。言うだけではダメ、思いだけでもダメ、自分のレベルがいかに低いかを思い知



われ、何人かの前で話したことが、とても喜ばれたのです。喜んでくれたのが嬉しかったと同時に、「自分の経験を生かして、同じ苦しみをしている人を救いたい」という気持ちが出てきました。もつと話すことを磨きたい！伝える力を磨きたいと思っていた時に「セミナーコンテスト」に出会

いました。セミナーコンテストとは、自分の経験をノウハウに変えて10分間にまとめてセミナー形式で競うコンテストなのです。年に1度全国大会があり、各地域の優勝者が集まって全国1位を決めるのですが、なんとその全国大会で優勝することができたのです。この優勝を新聞・雑誌に取り上げて頂き、知名度も上がり、テレビ番組のレギュラーまで決まりました。今では各地で講演会や企業のコンサルティングをさせて頂いています。潰れかけた自動車屋の社長が、今はこんなに多くの人の前で話すことになるのは、数年前では考えられなかった展開になっています。

孤独を感じている経営者のために。

from IL SARTO

人と組織のミライを創造する「商売繁盛請負人」。

ご自身の経験をもとに、自立した組織作りのお手伝いをされている西村社長。人材育成からのアプローチですが、結果的にやっていることは人それぞれの生きる場所を見つけるお手伝いです。人材のタイプに適した配置や能力開発方法をすることで、それぞれの人がもっている可能性が開き、結果的に組織として輝く。可能性の扉が開くことでやりがいや使命感を感じ、より豊かな人生を歩むお手伝いをされているのです。西村社長ご本人の長所は「吸収力、実践力、継続力」。必要

と思ったものは素直に聞き、すぐ取り入れ、出来るまで実践するチカラは、並はずれて高い。情熱を持ち、熱狂的に仕事をしながらも冷静に本質を見極め、勝てる場所を探すバランス感覚も非常に優れています。この仕事の本質や西村さんの価値を踏まえ、キャッチコピーを「人と組織のミライを創造する商売繁盛請負人」と提案し、この役割のキーワードである希望、品格、創造を印象づけるブルーのスリーピースに、西村さんのアイコンとしてオレンジのネクタイを提案させていただきました。



【有限会社 西村自動車】

〒779-4701 徳島県三好郡東みよし町加茂1869-11 | tel.0883-82-2040 | www.nishimura-jidousha.com/

●仕事と家庭が両方になる秘訣がいっぱい詰まった西村さんのブログを是非ご覧ください。右のQRコードからアクセスできます。



ホームページ



ブログ